

# Xoops モジュール Nome バージョン 0.28 ドキュメント

2020 年 10 月 24 日作成

飯高敏和

## 1 はじめに

この文書では、Xoops モジュール Nome バージョン 0.27 の仕様及び追加機能の利用方法を解説する。

**動作環境** : xampp-windows-x64-5.6.39-0-VC11 にて、動作確認  
AMAZON の LEX を用いて、動作確認

## 2 アップデート手順 :

STEP 1 通常の Xoops 標準モジュールのアップデート手順を踏む

STEP 2 /data/constant.php を削除

STEP 3 管理者の index.php にアクセス

## 3 追加機能 :

エージェントキャラクターによる応答機能に、AI サポートを追加した。

- ① エージェントコメント設定画面に、スクリプトを設定する画面追加
- ② エージェントコメント設定画面に、シミュレータの動作を追加
- ③ 受講者が授業中にコメント時、AI によるレスポンド

## 4 利用方法

### 4.1 AI サービスの設定

外部からのスクリプトで操作できる AI のサービスに加入しましょう。作成者の場合は、Amazon の Lex に加入して、AI チャットボットを設定しました。

授業の重要キーワードについての説明を AI がするという使い方を想定しています。

### 4.2 コマンドラインから実行できるスクリプトの作成

作成者の場合は、Lex にテキストデータを渡し、フィードバックを得る Python のスクリプトを作成しました。

### 4.3 実行コマンドの保存

エージェントキャラクターの設定と、個別の授業が設定してある状態を前提とします。

## STEP1 授業設定へのアクセス

トップページから「講義をしたい」をクリック



## AI を使いたいクラスの「授業設定」



## AI を用いる授業の「イベント設定」

実施講義一覧

クラス名 GROUP1  
担当教員 iitaka

ログアウト  
[xoopsトップへ](#)

トップページに戻る  
クラスデータ一覧に戻る  
講義データを新規に挿入

\*「状態」の「授業前」をクリックすると、授業を開始できます。  
\*\*「イベントの設定」をクリックすると、登録済みの授業時間や資料や投票なども一括でイベントを設定できます

削除 (チェックの入っているものを削除)

削除	講義タイトル	作成時間	実施時間	イベントを設定	状態
<input type="checkbox"/>	<a href="#">テスト1</a>	2020-09-13 21:26	2020-09-14 06:00	<a href="#">イベントを設定</a>	授業中
<input type="checkbox"/>	<a href="#">テスト2</a>	2020-10-24 15:02	2020-10-24 00:00	<a href="#">イベントの設定</a>	

## STEP 2 エージェントによるコメントの設定画面にアクセス

「キャラクターによるコメント設定」を選ぶ

授業イベント設定

クラス名: GROUP1  
教員: iitaka  
授業名: テスト2  
出欠: ノートと練習問題の両方

この授業に設定されているイベント [プレビュー](#)

削除 (チェックを入れたものを削除する)

資料タイトル	設問タイトル	投票タイトル	小テスト名
		<input type="checkbox"/> えうえqw(キーワード確認)(イベント後表示)	

[キャラクターによるコメント設定 >>](#)

追加するイベントを絞り込む

イベント・タイトル

科目

### STEP 3 実行コマンドを記録させる

「AI による応答スクリプト」の欄に、スクリプトの実行コマンドを入れ、「更新」を押し、発話するエージェントを決める。通常コマンドは、実行スクリプト+クライアントの送信データであるが、ここでは実行スクリプトのみを入れる

The screenshot shows a web browser window with two tabs: "授業イベント設定" and "イベント回答後記事一覧". The address bar shows "localhost/xoop\_try/html/modules/norm/teacher/lecture\_reg/ins...". The main content area is divided into several sections:

- イベントデータ**: A table with columns for "イベントデータ", "エージェント", "エージェントのコメント", and "表示順序変更". It contains rows for "終了前コメント" and "終了後コメント", each with a "新規作成 >>" button and a "コメント" dropdown menu.
- 時系列で**: A section for setting the start time of the event. It includes a "開始時間 (十秒後) エージェントコメント" label, a "新規作成 >>" button, and a form with a "0秒" input, a "コメント" dropdown, and an "追加" button.
- AIによる応答スクリプト**: A section for setting the AI response script. It includes a label "AIの実行スクリプトと発話するエージェントキャラクターを、設定します。" and a "エージェント スクリプト" label. Below this, there is a "コメント" dropdown menu, a text input field containing "python D:/aws\_download...", and an "更新" button. The "コメント" dropdown and the "更新" button are circled in red.

### STEP 4 実行コマンドのシミュレートをする

コマンド情報が授業データにリンクされていると、「エージェント動作確認」のリンクが表示される。

イベント管理

イベントデータ	エージェント	エージェントのコメント	表示順序変更
えうえ ...	新規作成 >>		
	終了前コメント	<まもん	追加
	新規作成 >>		
	終了後コメント	<まもん	追加

時系列で

開始から何秒後に表示されるのかを、設定します。  
 開始時間 (十秒後) エージェントコメント  
 新規作成 >>

0秒 <まもん 追加

AIによる応答スクリプト

AIの実行スクリプトと発言するエージェントキャラクターを、設定します。  
 エージェントスクリプト  
 <まもん python D:/aws\_download/更新 エージェントの動作確認

リンクをクリックすると、シミュレートを行える。

10周年 ありがとうとまもん

10th Anniversary

<まもん

あなたのコメント:

エージェントの返事:

コメントを入力してください

コメント

・AIを実行するコマンド: python D:/aws\_download\_s/download/lex/norm\_com\_chat2.py  
 ・システムの文字コードとして現在設定されているコード: SJIS

\*コメントを入力しても、何も表示されない場合は、OSのコマンドラインからコマンドを実行し、正常にコメントを返すか確認してください。

コマンドラインから実行すると、応答が得られるのに、シミュレートに失敗する場合には、コマンドの実行権限を確認してください。また、応答が文字化けする場合には、管理画面で「システム文字コード」を変更します。

#### 4. 4 授業中のコメントに AI が応答

コマンドデータは、個々の授業データとリンクされています。コマンドデータを所有する授業では、受講者がコメントを投稿すると、エージェントが AI に基づいてレスポンスを返します。